

昭和大学医学部アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

昭和大学医学部は「至誠一貫」の精神のもと、医学を通して医療の発展と国民の健康増進と福祉に真心をもって寄与する優れた人材を育成することを目的としています。昭和大学医学部のカリキュラムを修得し、卒業時に求められる能力を達成できる学生として、日々の学修と多様な経験の中から以下の能力を身に付けている人を求めます。

1. 医師となる明確な目的意識と情熱を有する人
2. ディプロマポリシーを教育目標とする本学に対する明確な志望動機を有する人
3. 中等教育の学業において、数学や理科（物理、化学、生物）などの自然科学と英語の基礎知識を持ち、国語、社会も幅広く履修した人
4. 他者を理解し、思いやりの心を持てる人
5. 人とかかわることに関心を持ち、基本的なコミュニケーション能力を有する人
6. 知的好奇心にあふれ、新しい分野に積極的に挑戦できる人
7. 地域での医療や国際的な医療活動に興味を持つ人
8. 1年次の全寮制共同生活・学修に積極的に取り組める人

上記の人を選抜するために次のような入学試験を実施します。

【一般選抜入試（Ⅰ・Ⅱ期）】

1. 一次試験科目の出題方針：

高等学校学習指導要領に則り、基本的、標準的問題を中核として、基礎学力と応用力を測る問題を含め、医学・生命に関連する問題など幅広い分野から出題します。

2. 一次試験合否判定基準：

英語、数学、理科（物理、化学、生物から二科目選択）の得点総計（400点満点）が一定水準以上の人を一次試験合格とします。

3. 二次試験科目の出題方針：

小論文と面接試験により行います。

1) 小論文：社会的関心事、医療・医学の関心事についての問題提起を行い、これに対する受験者の考え方を問う問題です。科学の基礎知識や高い倫理感、問題文の読解力、および自分の考えを明解な分かりやすい文章とする表現力を評価します。

2) 面接試験：本学で医学を学ぶにあたっての動機や意欲のほか、社会に向き合う態度、基本的なコミュニケーション能力、医学に対する熱意と情熱、個性や才能を評価します。

4. 二次試験合否判定基準：

一次試験合格者の中から、二次試験科目である小論文試験、面接試験を重視し、さらに調査書から推測される日常活動を考慮して総合的に判定します。上位合格者を決定すると同時に補欠（繰上げ）合格候補者も決定します。

【大学入試センター試験利用入試（B方式：地域別選抜入試）】

1. 一次試験科目の出題方針：

センター試験の試験要領に則ります。

2. 一次試験合否判定基準：

英語（リスニングを含む）、数学、理科（物理、化学、生物の中から二科目を選択）に、国語、地理歴史・公民（「世界史」、「日本史」、「地理」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」の中から一科目を選択）を含めた基本的な科目の得点総計（900点満点）が一定水準以上の人を合格とします。

3. 二次試験科目の出題方針：

小論文と面接試験により行います。

1) 小論文：社会的関心事、医療・医学の関心事についての問題提起を行い、これに対する受験者の考え方を問う問題です。科学の基礎知識や高い倫理感、問題文の読解力、および自分の考えを明解な分かりやすい文章とする表現力を評価します。

2) 面接試験：本学で医学を学ぶにあたっての動機や意欲のほか、社会に向き合う態度、基本的なコミュニケーション能力、個性や才能、医学に対する熱意と情熱を備え付けているかを評価する面接を行います。また、本選抜は地域枠という特性から、出身地の医療や社会状況、出身地での将来的な医療貢献についても質問します。

4. 二次試験合否判定基準：

一次試験合格者の中から、小論文試験、面接試験を重視し、さらに調査書から推測される日常活動を考慮して総合的に判定します。上位合格者を決定すると同時に補欠（繰上げ）合格候補者も決定します。

教育研究上の目的

医学部は、昭和大学の理念である「至誠一貫」の精神のもと、医学・医療の発展と国民の健康増進と福祉に真心を持って寄与する人材の育成を目的とする。そのために以下の教育研究を展開する。

1. 人間性豊かな患者中心の医療を実践する教育
2. 優れた専門的能力の育成
3. 学部連携チーム医療教育の推進